

大阪大学歯学部附属病院総合技工室の活動をお伝えします！

技工室だより



2021 April~May

Vol.1

ごあいさつ

今月から、当技工室の研修生の実習の様子や、職員の取り組みなど、技工室だよりで詳しくお伝えします😊
技工士ってどんなことをしているの？研修ってどんなことをするの？
など、患者の皆様、技工士学校生の皆さんが当技工室の雰囲気を感じて、歯科技工に興味をもっていただければ幸いです。



研修生

4/1 オリエンテーション

林 美加子病院長、池邊一典教授
(咀嚼補綴科・兼総合技工室室長)
ご出席のもと、令和3年度歯科技工研修生のオリエンテーションが執り行われました。
今年度は5名の歯科技工研修生が1年間当技工室で研鑽を積みます。



*集合写真時のみマスクを外して撮りました

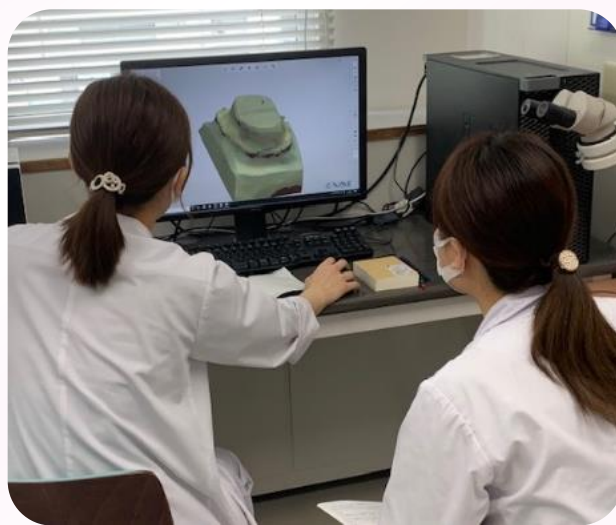
前列中央・林 美加子病院長、前列右・池邊一典教授



4月の臨床実習の様子

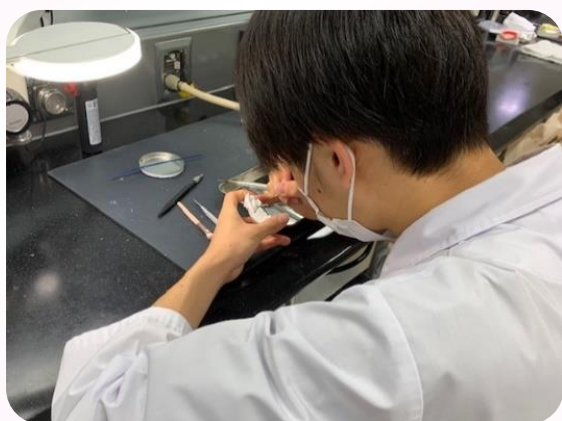
歯冠班

実習担当職員から指導を受けながらデジタル技工（CAD/CAM 冠）スタート
覚えることが多く、たくさんメモをとりながら製作しました。



有床班

咬合床など初歩のステップからスタート
基本技工はデジタル時代になっても大切です。

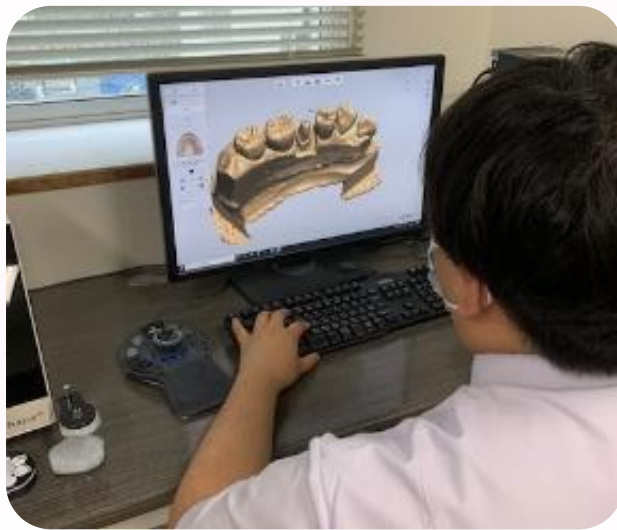




5月の臨床実習の様子

歯冠班

まだまだ時間はかかりますが、デザインできるようになりました。
ワックスアップよりも早く完成させることができます。



デジタル技工以外の症例も、たくさん製作しています。
こちらは前装冠です。



有床班

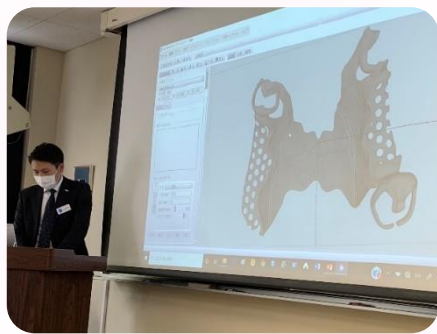
パーシャルデンチャーの症例等にも積極的に取り組んでいます。
2カ月で一通りできるようになりました。



デジタル技工

4/14 3Dプリンター説明会

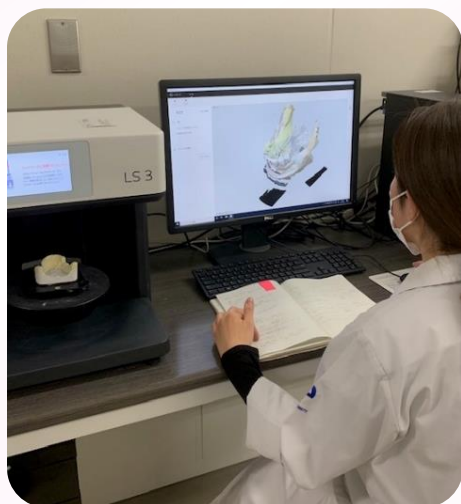
(株)松風の営業部の方をお迎えして3Dプリンターの説明会がありました。
説明会に先立って池邊一典教授からデジタル技工についてのお話がありました。



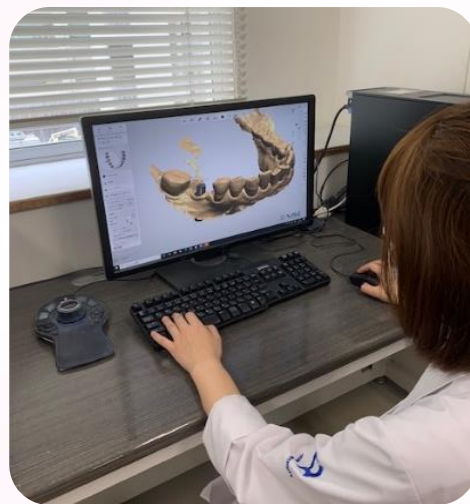
職員

4～5月 デジタル技工

当技工室でも、データのやり取りのみの症例が増えてきました。
日々進歩する技術に苦戦しながらも、最新の機器やソフトで丁寧に
製作しています。



和田誠大准教授（咀嚼補綴科）
指導のもとデジタルの症例（有床）
に取り組む新井職員（有床
班・実習指導担当）



高岡亮太助教（口腔補綴科）の
I O Sの症例（インプラント）を
デザイン中の岩本職員（歯冠班・
実習指導担当）

おわりに

いかがでしたか？ 技工士の仕事や、研修制度の雰囲気を感じていただけましたでしょうか😊

当技工室では最新の機器をそろえ、職員、研修生ともに患者さんに満足していただける補綴装置を製作できるよう日々努力を重ねています。

次回の技工室だよりをお楽しみに！

